

健康チェックトイレ

～毎日のトイレで早期に異常を発見～

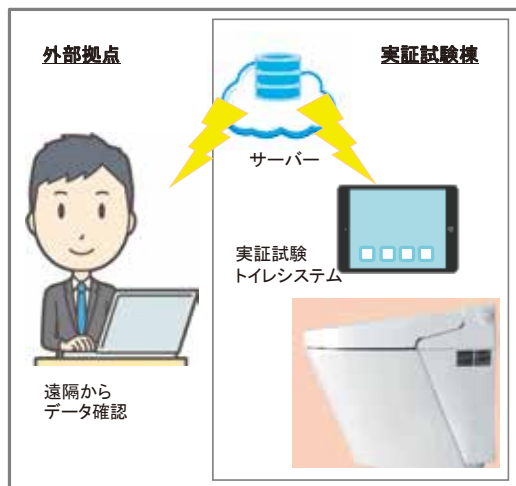
● 藤田医科大学 教授 才藤栄一 ● 株式会社LIXIL 井須紀文

成果概要

これまでの装置開発は技術課題の解決を優先してきたが、商品化する上ではユーザーにとって使いやすく有益なものでなければならない。これまでの実証試験は使用者が開発関係者に偏っており、一般の方からの意見を得る機会に乏しかったことが課題であった。本研究では今までに得られなかった、一般の方が使用した場合のシステムの動作検証と使用感に関する意見収集ができた。

実証試験の結果

- 地域住民の協力を得て健康見守りトイレシステムのモニター試験を行い、システムの動作検証やユーザビリティについての意見抽出ができた。
- インターフェースの操作性・わかりやすさについては概ね良好だったが、装置動作の円滑さや安定性および、使用環境での快適性などの課題を一般の方の観点で抽出することができた。
- 装置～インターフェース～サーバー間でのデータ通信の無線化を促進し、通信のタイミングやデータの構成・容量などを検討・改善し、遠隔でのデータ取得可能なレベルまでデータ通信技術に関して完成度を高めることができた。



トイレシステムのモニター調査の様子

今後の展開

- 健康見守りトイレシステムの設計や動作機構・制御の最適化と、より使いやすくわかりやすいインターフェースのデザイン構築につなげていく。
- 日常のデータを蓄積する仕組みの構築やインフラ整備・管理方法に活かしていく。

- お問い合わせ先：株式会社LIXIL
<http://www.lixil.co.jp>
- 特許の有無：無